

2024年度第1回日本学連臨時総会議事録

【日程】2024年 7月9日(火)21:00 ~ 22:30

【開催場所】Zoom を用いたオンライン開催

【議事録作成者】西澤汰知(東北大学)、早川正真(立命館大学)、石井雅人(東北大学)

【目次】

1.日本学生オリエンテーリング連盟について.....	1
2.インカレ枠配分改正について.....	1
3.春インカレ幹旋について.....	2
4.日本学連所有のテレイン(日光・矢板地区)について.....	3

1.日本学生オリエンテーリング連盟について(幹事長:遠藤)

概要

日本学生オリエンテーリング連盟について遠藤から説明
詳細は資料参照のこと。

○投票

2024年度役員の承認は2024/07/16までグーグルフォームで回答すること

2.インカレ枠配分について(技術委員会:毛利)

概要

インカレ枠配分について技術委員会毛利から説明
詳細は資料参照のこと。

質問

斎藤:女子のスプリント対象レース数を3レースにするのは反対であるという意見が北大から出ている。北大の地理的条件から大会に出にくい。そのため、北大としては不利ではないか。

毛利:北東、特に北海道大学では3本そろえるのが難しいと考えている。
インカレで少なくとも1本は揃うが、北東セレがランキング対象となったとしてももう1本出走しなければならぬ。北海道でラングレースがあるかどうかは年によるので、そうした意見が出るのも当然かと考える。

石井:スプリントのみ対象レース数を2本にするのは可能か。

毛利:規約の面でもレース数を3本にそろえていくのが簡単ではあるが、強い反対意見等が出るのならば考慮する必要がある。今回の投票では、複雑になるのを防ぐため、選択肢を設けない。

遠藤:スプリントのみを2本にしたいという意見があるのなら、その選択肢を用意する。同様の意見があるのならこの場で発言してほしい。

斎藤:北海道大学としては、スプリントのみ2本だと嬉しい。スプリントはフォレストに比べてお金をかけて本州まで遠征したいと考える部員が少ないため、スプリント女子のみ対象レース数を2本にすることに賛成である。

佐藤:ここでスプリント女子のみ2本案に賛成するという意思表示をしないと、本案は多数決で却下されてしまうという理解でいいか。

毛利:その通りである。

佐藤:北海道大学の事情を考慮すると、私としてはスプリント女子のみ対象レース数を2本にすることに賛成である。

○投票内容1

1. 日本ランキングと全く同じ仕様とし、仕様変更を全て受け入れる
→低コスト(初年度10万円のみ)で実施できる。日本ランキングの仕様変更とともに改善されていく。仕様変更の度に議論する必要がない。
2. 基本的に日本ランキングと同じ仕様だが、仕様変更は都度議論する
→仕様変更を学連で議論できる点がメリット。次第にJOAの日本ランキングと乖離していく点、2年目以降もコスト(5万円/年)がかかる点がデメリット。

○投票内容2

1. 女子の日本ランキングの対象レース数を3レースにする
2. 女子の日本ランキングの対象レース数を2レースにする
※投票内容1にて案2に決定した場合を考慮して同時に投票を取る。グーグルフォームで投票内容1で1に答えた場合、自動的に対象レースは3本でいいとみなす。また、投票内容1で2に答えた場合、対象レース数をどうするか回答することにする。また、スプリントのみ対象レース数を2本にするという選択肢で解答できる形にする。
3. 女子の日本ランキングの対象レース数をスプリントのみ2レースにする

回答締め切りは2024/07/16までとする。

補足

日本ランキングにはエリートランキング・年齢別ランキングがあるが、枠配分においては年齢別ランキングの無差別クラスを利用する。エリートランキングよりは出走本数が多くなりやすい。

3.春インカレ幹旋について(理事:田中)

概要

春インカレ幹旋について田中理事から説明

詳細は資料参照のこと。

今回の内容の決議権は春インカレ実行委員会が所有するため、今回の総会では学生の意見を募るものとする。

質問

斎藤:北大は交通費が高いことを理由に宿泊幹旋を免除してもらっていた。今年度も宿泊幹旋を免除してもらいたいが、宿泊幹旋がなくなるとテレインの質は落ちるのか。

田中:2024年度については全大学一律でこの方針(宿泊のみ幹旋)としていきたい。

コロナからの立ち上げにおいて、一部の大学の宿泊幹旋なしを受け入れていたが、今年からはすべての大学を一律にしたい。北海道大学について認めると他の大学はどうなんだとなり話が拗れるため、認めない方針である。

交通幹旋がなくなること、レンタカーでの来場ができるという点でコストダウンが望めると考える。ただし、北大内で、具体的な金額等の推算から春インカレの参加が難しいという内容があれば、問い合わせさせていただきたい。

また、質が落ちるといってやや語弊があり、駐車場を用意できないテレインが使用できなくなる。一方で、過去の春インカレ開催地を見ても、今回の制約によって弾かれるテレインは1~2割程度であるため、過度に心配する必要はない。新たな条件の下で実行委員会はよりよいテレインを選定するため、実際は学生が実感するようなほど強い制約にはならないと考えている。

遠藤: インカレSPUIに確認したところ、近年春インカレを開催しているテレインでは駐車場の用意は可能であり、交通・宿泊斡旋をしない形式でも利用できるとのことである。

○アンケート

春インカレのモデルイベント・開会式や後夜祭に関してどの程度の需要があるのか、グーグルフォームで回答してほしい。

4. 日本学連所有のテレイン(日光・矢板地区)について

概要

山川さんが長年渉外の管理などを行っていた日本学連所有のテレインが、山川さんの体調などで一時的に利用が難しい現状となっている。

日光地区の一部のテレインについて、8/10-9/10実施予定の練習会の分は、明日7/10まで利用申請を受け付けている。

今後、日学所有のテレイン利用に関して質問がある場合は日本学連渉外部まで問い合わせてほしい。

坂野: 山川さんの代理としてテレイン渉外を担当している。矢板地区・日光地区は地元の方のオリエンテーリングへの理解もあるが、土地をお借りして競技に使用しているという点は今後も意識してほしい。今後のオリエンテーリングの開催のためにも、地元の人への積極的なあいさつや地元施設の利用等を継続して行ってほしい。